



経営者、プロデューサー、タレント

さとさき

里咲 りささん

### Profile

1992年藤岡市生まれ。群馬県立高崎女子高等学校を卒業し、早稲田大学に入学。2014年に芸能事務所・音楽レーベルを立ち上げ、都内を拠点に芸能活動を展開中。

## 「好き」を力に、道を切り開く!

き

らびやかで華やかなエンターテインメントの世界。そんな世界に里咲さんは小さな頃から憧れを抱き、現在は経営者・プロデューサー・タレントと多岐にわたって活躍しています。

藤岡市で生まれ育った里咲さん。近所の友達とカエルを捕まえたり、薬ちまで家を作ったりと、明確な「遊び」というものがないところから、みんなはどう遊ぶかを考えていたことがクリエイティブな発想を育むことにつながったと語ります。「特に毎週通っていた市立図書館が、私とエンターテインメントの接点だったと思います。VHSやCDを夢中で借りて見たり聴いたりしていたので、それが今のベースになっています」と当時を振り返ります。

小学生の頃から作詞・作曲を行い、中学生の時にはほぼ独学でギターをマスターしました。大学進学後はシンガーソングライターとして活動するも、なかなか芽が出ず、一時は芸能活動自体を辞めようと考えていました。その時にアイドルにならないかと声をかけられ、一転アイドルとして活動する

ことに。その後、雇われているだけではだめだと思い、21歳で会社を設立。テレビ番組や音楽活動で活躍し、現在は芸能活動のほか、アニメ映画製作・経営・プロデューサーと幅広く活動しています。

タレントと経営者の二つの役割をこなすことについて、「プレイヤーマネジメントも両方大変な事があります。今までいろんな選択肢があったけど、大変なこと楽しいことは何をやっても同じくらいの量しかないと思っているし、だからこそ今までやってきたことの過程に大きな意味があったと感じています」と語ります。

「私がここまで育ったのは藤岡市の風土あってのものなので、どんな形でも地元に戻元していきたいですね」と、これからの活動について話してくれた里咲さん。乳幼児向けアニメのテーマソングの作成や、骨髄バンクユーザーアンバサダーの就任、さらにはぐんまちゃんの YouTubeチャンネルの音楽や映像制作など、活動の幅を広げ続けていったその先に、ふるさと藤岡市とのコラボレーションが待っているかもしれません。